

しんしゅうアニメ絵本シリーズ②

おしゃかさま



おしゃかさまの生涯

80歳	35歳	29歳	16歳	0歳	年齢	
ねはん 涅槃	しよてんぼうりん 初転法輪	じょうどう 成道	しゅっけ 出家	しもんしゅつゆう 四門出遊	結婚	誕生
2月15日、クシナガラ <small>クシナガラ</small> の沙羅双樹 <small>沙羅双樹</small> の下で亡くなる(涅槃に入ります)。	その後、サルナートの鹿野苑 <small>鹿野苑</small> にて5人の修行者に対して法を説く。以後、亡くなるまで布教伝道(説法)の旅を続ける。	6年間の苦行をやめ、菩提伽耶 <small>菩提伽耶</small> の菩提樹 <small>菩提樹</small> の下に座り瞑想 <small>瞑想</small> に入る。そして12月8日、「縁起 <small>縁起</small> の法道 <small>法道</small> 種 <small>種</small> 」に目覚め、菩提伽耶 <small>菩提伽耶</small> となる。	王子の位や名譽、家族を捨てて、苦行(修行)生活に入る。	お城の外へ出て、老病死の現実を見る。	ヤシヨータラ姫と結婚。後にラーナムという男の子が誕生。	4月8日、リンビーの森(現ネパール領内)で、シャカ族の王子として生まれる。

※おしゃかさまが生きられたのは約2500年前とされ、その生没年には諸説(紀元前463~383年、566~486年など)あります。



いまから2500年ほど前のインドのお話。

ヒマラヤの山々のふもと、

花々がさきほこるルンビニーという森で、

「シャカ族」の王子が誕生しました。

王子は、生まれるとすぐに七歩あるいて、

右手で空を、左手で地面を指さし、

「天上天下唯我独尊」

（わたしは、この世でだれともくらべる必要のない、

尊い人として誕生した）

と言ったのです。

王子は「シッダールタ」と名づけられました。

4月8日、春のことです。

